

親子聖書日課

[日]他人の欠点は、おが屑のように小さくても見えるのに、自分の欠点は丸太のように大きくても見えない人がいます。人を裁くとは、他人のあら捜しをして、責めること、自分も同様に裁かれます。自分の罪こそ、主に取除いて頂きましょう。

[月]地震が来ても、土台のしっかりしている家はビクともしないように、信仰生活も土台がしっかりした人は試練が来ても大丈夫です。その土台は、御言葉を聞いて行うことによって築かれます。見えない土台こそ、信仰を支える原動力です。

[火]主は病氣も自然も支配する力を持っていましたが、その力は御言葉によって現されました。ですから、百人隊長のように「ただひと言おっしゃって下さい」と求めましょう。神の言葉は真実です。「ただひと言」求める者に、必ず、実現します。

[水]主は生涯自分のためには休息できませんでしたが、激しい嵐の中でぐっすり休まれました。どんな試練の中でもゆるぎない平安がありました。主は私達の舟(生活)に乗り込んで、私達が人生の嵐にあっても、平安を与えて下さいます。

[木]主の救いを経験した人は、他者を主の下に導こうと励みます。中風の人を運んだ人々がそうです。あらゆる努力を払って他者を導こうとする時、主も「その人達の信仰を見て」救って下さるのです。力を合わせて、主の下へ連れて行こう！

[金]信仰とは、「私にできると信じるか」との主の問いに、迷わず「はい、主よ」と答えることです。不可能に見えることでも、主を信じるなら、主は測り知れないことをして下さい。「はい、主よ」を合言葉にするなら、主の御旨が実現するでしょう。

[土]主はいつの時代も働き手を求めています。弟子に選ばれた12人は、好き嫌いを超えて、主のために一致して働くことができました。「失われた羊の所へ行って」主の平和の福音を伝える働きが私達にも託されています。共に主のために働こう！



NO.1465 2016.10/23-29 名前

	聖書	問題	答え
日	マタイ 7:1-12	偽善者よ、まず自分の目から何を取り除くべきですか。	
月	7:13-29	どんな者は皆、岩の上に自分の家を建てた賢い人に似ていますか。	
火	8:1-17	百人隊長は、主のただどうして下さいと求めましたか。	
水	8:18-34	舟が波にのまれそうになった時、主はどうしておられましたか。	
木	9:1-17	人々は中風の人をどうしたまま、主のところへ連れてきましたか。	
金	9:18-34	私にできると信じるか、と主に聞かれた時、盲人は何と答えましたか。	
土	9:35-10:15	収穫は多いが、何が少ないですか。	

感想と祈りの課題

